

分科会評価結果

しかしながら、本事業は、これまで市民のごみ減量・リサイクル意識の醸成等に寄与する一方で、近年は、社会情勢の影響による子供会の減少等により、活動団体数、回収量ともに年々減少しており、今後も減少していくことが想定される。また、資源物については、行政回収や民間事業者による店舗等での回収も進んでいる。今後はこうした現状や課題を把握する中で、引き続き必要な支援を行うことを求め、継続とした。